

2021年5月25日

## 調査レポート「シニア雇用への新型コロナウイルスの影響＜個人編・企業編＞」 コロナ影響でシニアの約2割は「就業意欲が弱まった」 企業のシニア採用意欲に大きな変化なし

株式会社リクルート（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：北村 吉弘）の調査研究機関『ジョブズリサーチセンター（JBRC）』（<https://jbrc.recruit.co.jp/>）が、調査レポート「シニア雇用への新型コロナウイルスの影響＜個人編・企業編＞」をまとめましたので、ご報告いたします。

### ■ 主な調査結果

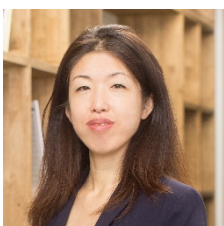
#### <個人編>

- コロナ影響により、就業意欲が弱まったシニアは約2割。特に非就業者では3割超となっている。その理由については「感染予防のため」が66.3%、「外に出るのがおっくう」が36.6%などとなった。（p.2）
- 生活の中で変化したことは、「健康に気をつかうようになった」83.1%、「パソコンやスマートフォンを使い始めた、使う時間を増やした」54.2%など。（p.3）

#### <企業編>

- 働き方の変化として、「オンライン会議」、「非常時のテレワーク」が進んだとの回答が4割超となった。また、採用活動に当たっても「オンライン面接を導入・拡大した」が18.2%など、オンライン化が広がった。（p.4）
- パート・アルバイトの採用では、約2割の企業が「採用予定を減らした」と回答した。シニア採用については、積極的になったとの回答と、積極的でなくなったとの回答がそれぞれ約1割だった。（p.5）

### ■ 中長期的ニーズを見据え、コロナ影響をシニア雇用促進の契機に



ジョブズリサーチ  
センター長  
宇佐川 邦子

今回の調査結果からは、コロナ影響により就業意欲が弱まったシニアが少なくないことが分かりました。このような影響は他の年代でもあると推測されますが、採用活動の際は各年代に合わせた対応も必要です。シニアほど「定期的に洗浄・消毒などを実施している」、「対面での面接を空調に配慮した場所で行っている」ことが応募・就業意欲につながったという調査結果（p.3参照）もあります。

企業編の結果を見ると、コロナ前後でシニア採用への積極性に大きな変化はありませんでした。シニアに限らず採用予定を減らしたとの回答は少なくないものの、中長期的に見ると、少子高齢化や人材不足の状況は続くと考えられます。コロナ影響をむしろチャンスと捉え、どの年代の人も働きやすい職場を作る契機にしたいものです。

### ■ レポートはこちら→ [https://jbrc.recruit.co.jp/data/data20210525\\_1740.html](https://jbrc.recruit.co.jp/data/data20210525_1740.html)

※「入職者調査 2020年年間一新型コロナウイルス感染症の仕事・生活への影響に関するアンケート結果一」（p.3掲載） [https://jbrc.recruit.co.jp/data/data20210525\\_1741.html](https://jbrc.recruit.co.jp/data/data20210525_1741.html)

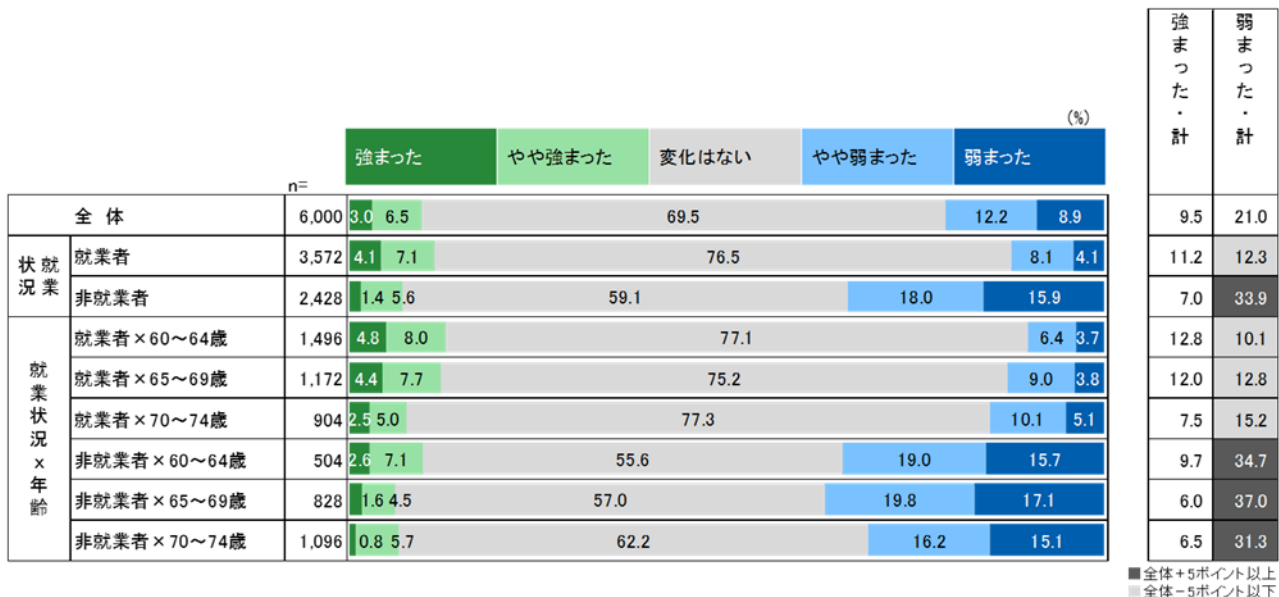
本件に関する  
お問い合わせ先

<https://www.recruit.co.jp/support/form/>

2021年5月25日

## 個人編 就業意欲への影響

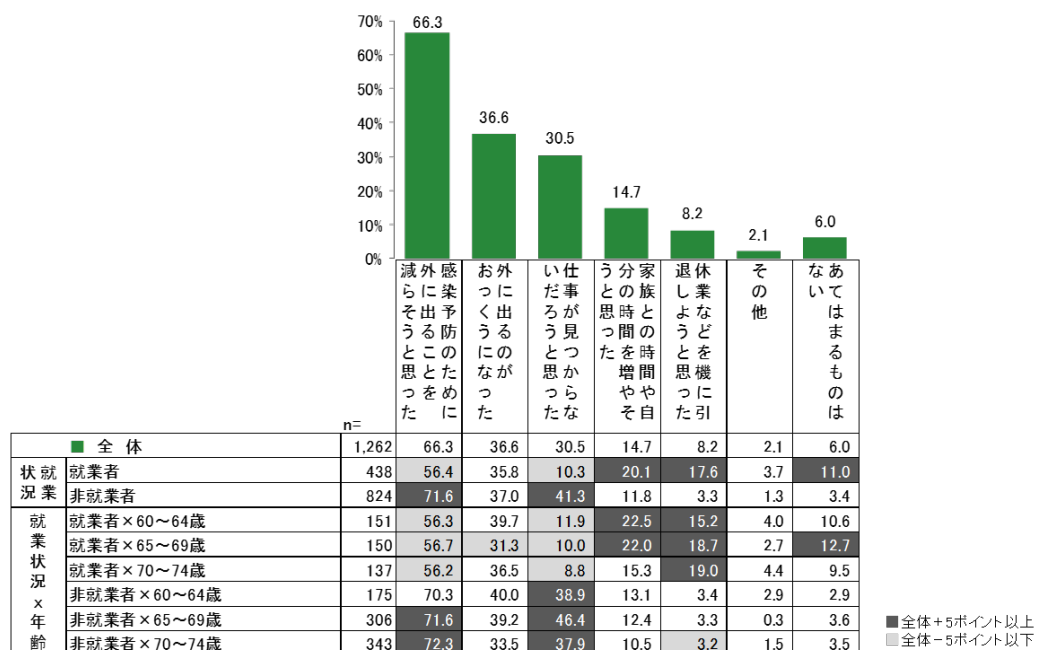
「強まった」または「やや強まった」との回答が計9.5%、「弱まった」「やや弱まった」との回答が計21.0%となった。特に非就業者では就業者に比べて就業意欲が弱まったとの回答が多く、いずれは働こうと思っていたがコロナ影響でためらうようになった人が少なくないと考えられる。（※調査対象者には働くつもりがない人が含まれていない点に注意が必要。）



Q. 新型コロナウイルスの影響で、働きたい／働き続けたいという気持ちに変化はありましたか。（単一回答）  
【対象者：全員】

## 個人編 就業意欲が弱まった理由

「感染予防のために外に出ることを減らそうと思った」が66.3%で最も割合が高い。次いで、「外に出るのがおっくうになった」「仕事が見つからないだろうと思った」が3割以上となっている。



Q. 新型コロナウイルスの影響で、働きたい／働き続けたいという気持ちが弱まったのはなぜですか。（複数回答）  
【対象者：「弱まった」または「やや弱まった」人】

2021年5月25日

## 個人編 生活の変化

「健康に気をつかうようになった」が「あてはまる」または「ややあてはまる」との回答が8割超。「パソコンやスマートフォンを使い始めた、使う時間を増やした」は5割超、「家族や友人とビデオ通話などオンラインでのコミュニケーションを増やした」は約3割だった。WEBアンケートという条件はあるものの、日常生活でもオンライン化が進んできていると考えられる。

	n	%			やあ ややあ あはま はまる ま十 る
		あてはまる	ややあてはまる	あてはまらない	
健康に気をつかうようになった	6,000	29.6	53.5	16.9	83.1
家計を見直した、節約するようになった	6,000	12.2	45.4	42.4	57.6
パソコンやスマートフォンを使い始めた、使う時間を増やした	6,000	14.6	39.6	45.9	54.2
家事の時間を増やした	6,000	9.9	40.0	50.1	49.9
運動習慣を取り入れた、運動する時間を増やした	6,000	13.3	30.9	55.8	44.2
趣味を始めた、時間を増やした	6,000	7.1	33.8	59.1	40.9
家族や友人とビデオ通話などオンラインでのコミュニケーションを増やした	6,000	6.0	23.7	70.4	29.6
新しいことを学び始めた、学習の時間を増やした	6,000	3.5	17.5	79.0	21.0
地域活動やボランティアを始めた、時間を増やした	6,000	2.5	13.2	84.4	15.6
育児や介護の時間を増やした	6,000	2.7	10.6	86.6	13.4

Q. 過去1年ほどで、あなたの生活の中で変化したこととして、あてはまるものをお答えください。(単一回答)  
【対象者：全員】

「入職者調査 2020年年間—新型コロナウイルス感染症の仕事・生活への影響に関するアンケート結果—」より

## 仕事探しにおける新型コロナウイルス感染症対策への関心

2020年に入職を経験した方向けの調査では、企業の新型コロナウイルス感染症対策のうち応募・就業意欲につながった情報として、シニアほど「定期的に洗浄・消毒などを実施している」「対面での面接を空調に配慮した場所で実施している」ことが応募・就業意欲につながったと回答しています。

【性年代別】	求人情報に 会社全体の コロナ対応策の 記載がある	会社説明会 をオンラインで 実施している	対面での会 社説明会の 人数を絞る、 大きな会場を 用意するなど	面接をオンラ インでも実施 している	対面での面 接を空調に配 慮した場所で 実施している	コロナ休業時 に保険制度よ りも手厚い補 償がある	在宅勤務を 推奨してい る、在宅勤務 ができる	オフィスでの座 席間隔を確 保している	レジ等に飛沫 防止の仕切り を設置してい る	定期的に洗 浄・消毒など を実施してい る
TOTAL (n=20,609)	10.9	4.1	4.0	6.4	7.7	4.1	5.8	6.9	7.4	13.6
男×15-24歳 (n=3,088)	13.3	5.5	4.6	5.7	5.9	5.0	6.6	5.0	5.9	9.0
男×25-34歳 (n=1,862)	15.3	8.1	7.4	8.6	6.7	4.5	7.4	5.2	3.5	8.7
男×35-44歳 (n=1,348)	14.6	5.5	6.2	8.1	7.9	4.5	7.0	6.6	4.3	10.0
男×45-54歳 (n=1,056)	10.6	3.9	3.8	7.1	7.3	4.2	6.0	5.6	3.3	10.0
男×55-64歳 (n=1,179)	9.7	2.0	2.9	4.3	9.4	3.2	5.5	7.1	2.8	11.8
男×65-69歳 (n=782)	9.3	1.6	3.0	3.2	11.0	3.2	3.9	9.1	3.6	13.8
女×15-24歳 (n=3,642)	9.3	4.2	3.5	7.8	5.8	3.6	5.2	6.1	13.3	16.6
女×25-34歳 (n=2,136)	9.3	4.1	3.1	8.0	7.3	5.1	7.1	6.9	8.3	13.0
女×35-44歳 (n=2,189)	9.3	3.1	3.3	5.1	8.0	4.4	5.5	8.3	8.5	15.1
女×45-54歳 (n=1,722)	8.6	2.2	2.3	5.4	8.7	3.6	4.7	9.1	8.8	17.8
女×55-64歳 (n=1,150)	9.5	1.7	3.1	4.2	12.0	3.1	2.9	9.7	8.4	20.9
女×65-69歳 (n=455)	10.0	2.1	3.7	2.9	17.0	1.2	3.7	10.8	7.1	26.6

Q. 企業の新型コロナウイルス感染症対策のうち、応募・就業意欲につながった情報(複数回答)  
【入職者調査 2020年年間 対象者：2020年1-12月に入職を経験した方】

2021年5月25日

## 企業編 働き方の変化

「オンライン会議」「非常時のテレワーク」については「とても進んだ」または「進んだ」との回答が4割超となるなど、オンラインでの働き方が急速に進んだことが分かる。一方で、「後退した」または「とても後退した」との回答が「シニアの採用・活躍支援」では8.2%、「長時間労働の是正」では7.2%となっている。

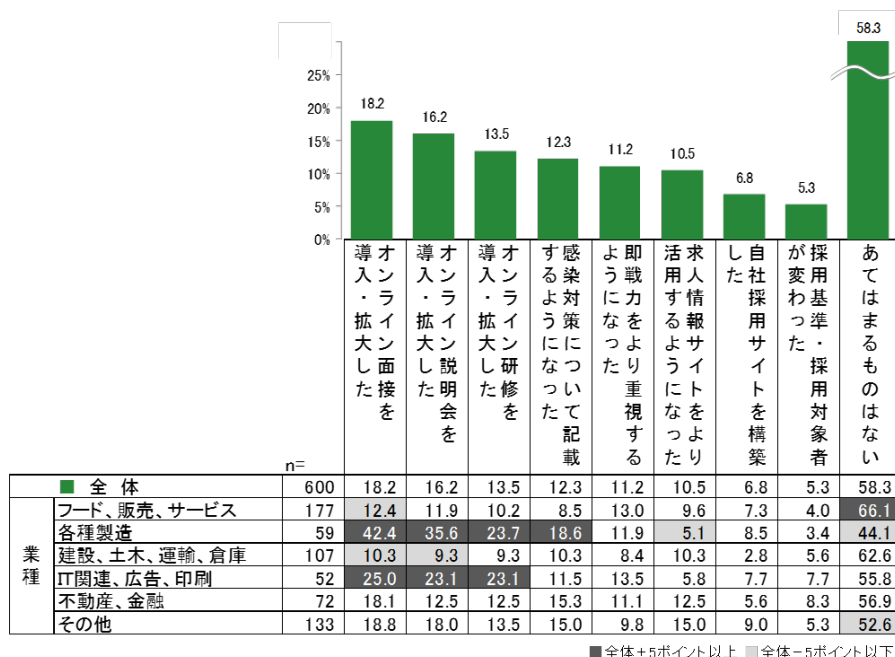
	n	%						進んだ・計	後退した・計	
		とても進んだ	進んだ	変化なし(以前より実施あり)	後退した	とても後退した	この働き方はしていない			
オンライン会議	600	19.2	24.5		28.5	0.8	1.3	25.7	43.7	2.2
非常時のテレワーク	600	15.5	24.8		21.8	0.8	0.3	36.7	40.3	1.2
日常的なテレワーク	600	10.0	25.5		24.7	0.7	0.3	38.8	35.5	1.0
時差出勤、フレックスタイム	600	8.7	25.3		30.3	1.5	0.2	34.0	34.0	1.7
業務におけるIT化・DX推進	600	6.2	18.0		41.2	2.0	0.8	31.8	24.2	2.8
従業員の副業・兼業	600	3.3	8.0		37.2	1.5	0.5	49.5	11.3	2.0
長時間労働の是正	600	6.0	20.7					66.2	26.7	7.2
女性の採用・活躍支援	600	2.7	8.0					83.2	10.7	6.2
非正規雇用の待遇改善	600	2.3	7.7					83.5	10.0	6.5
シニアの採用・活躍支援	600	1.8	7.0					83.0	8.8	8.2

※「長時間労働の是正」から下の項目は、「この働き方はしていない」選択不可

Q. 過去1年ほどで、働き方に変化がありましたか。(単一回答)【対象者：全員】

## 企業編 採用活動の変化

「オンライン面接を導入・拡大した」との回答が18.2%となるなど、オンラインによる採用活動が広がったことが分かる。その他、「感染対策について記載するようになった」「即戦力をより重視するようになった」「求人情報サイトをより活用するようになった」との回答もそれぞれ1割を超えた。(※回答者には、募集・採用を行わなかった企業も含まれている。)



Q. 過去1年ほどで、採用活動に変化がありましたか。(複数回答)【対象者：全員】

2021年5月25日

## 企業編 採用予定への影響（パート・アルバイト）

パート・アルバイトについては、採用予定を減らしたとの回答が全体の18.3%で、正社員についてとほぼ同じ割合となった。業種別に見ると、「フード、販売、サービス」で22.3%と最も割合が高くなっている。

		n=	採用予定を増やした	影響はない	採用予定を減らした	わからない
全体		355	3.4	65.9	18.3	12.4
業種	フード、販売、サービス	112	5.4	63.4	22.3	8.9
	各種製造	29	3.4	65.5	17.2	13.8
	建設、土木、運輸、倉庫	63	0.0	69.8	9.5	20.6
	IT関連、広告、印刷	35	0.0	74.3	11.4	14.3
	不動産、金融	43	2.3	69.8	20.9	7.0
	その他	73	5.5	60.3	21.9	12.3

Q. 以下の雇用形態について、新型コロナウイルスが採用予定に影響を与えましたか。／パート・アルバイト（単一回答）【対象者：パート・アルバイトの採用予定が「わからない/決まっていない」人を除く】

## 企業編 シニア層採用意欲への影響（パート・アルバイト）

パート・アルバイトでのシニア層の採用については、「以前より積極的になった」「以前よりやや積極的になった」の合計と、「以前より積極的でなくなった」「以前よりやや積極的でなくなった」の合計が、いずれも11.8%だった。「各種製造」では、積極的でなくなったとの回答が他の業種よりも多くなっている。最も多かったのは「どちらともいえない」で約8割だった。

		n=	以前より積極的になった	以前よりやや積極的になった	どちらともいえない	以前よりやや積極的でなくなった	以前より積極的でなくなった	積極的になった・計	積極的でなくなった
全体		600	3.5	8.3	76.3	4.3	7.5	11.8	11.8
業種	フード、販売、サービス	177	4.5	8.5	74.6	3.4	9.0	13.0	12.4
	各種製造	59	1.7	6.8	72.9	11.9	6.8	8.5	18.6
	建設、土木、運輸、倉庫	107	3.7	11.2	72.9	3.7	8.4	15.0	12.1
	IT関連、広告、印刷	52	1.9	7.7	78.8	5.8	5.8	9.6	11.5
	不動産、金融	72	4.2	6.9	80.6	2.8	5.6	11.1	8.3
	その他	133	3.0	7.5	79.7	3.0	6.8	10.5	9.8

■ 全体+5ポイント以上  
■ 全体-5ポイント以下

Q. 新型コロナウイルスの影響で、それ以前と比較すると、シニア層の採用に対する積極性に変化はありましたか。／パート・アルバイト（単一回答）【対象者：全員】

2021年5月25日

## ■ 調査概要

「シニア層の就業実態・意識調査 2021」

	個人編	企業編
調査方法	インターネット調査	インターネット調査
調査期間	2021年3月26日(金)～3月29日(月)	2021年3月16日(火)～3月18日(木)
調査対象	55～74歳の男女(全国) －現在働いておらず、仕事探しもしておらず、 誘いがあっても働くつもりはない人を除く	企業で人事・採用計画に関わっている方 －人事(採用・労務)担当の正社員・正職員/ 経営企画担当の正社員・正職員で、人事・採用 計画に関わっている方/会社経営者で、人事・ 採用計画に関わっている方
回答数	8,000人 ※今回の集計対象は、60～74歳の6,000人	600社

「入職者調査 2020年年間」(p.3)

調査方法	インターネット調査
調査期間	事前調査 2021年1月8日(金)～1月18日(月) 本調査 2021年1月22日(金)～1月27日(水)
調査対象	全国15～69歳の男女、本調査はそのうち2020年1～12月入職経験者
回答数	事前調査 409,996人 本調査 20,609人